

(一九一四)
大正三年太魯閣原住民討伐陸軍部隊における保甲人夫徴用(三)

前 圭 一

I 論文篇

はじめに

1 太魯閣原住民討伐作戦の概要

2 保甲人夫徴用システム

3 保甲人夫の動員

4 出役人夫の状況

5 監督警官の状況と役割

6 人夫出役における保甲の役割

おわりに(以上九十三号)

II 史料篇(九十四号)(本号)

III 写真篇

⑨ 出役人夫状況報告(続)

(一〇七) 犯人逮捕ニ関スル件報告 「五七四二一〇一七七」

大正三年四月二十七日

土城陸軍倉庫駐在

警部補 安村仙太郎

埔里社倉庫駐在

警部 山口孫一郎殿

犯人逮捕ニ関スル件報告

臺中廳武東堡卓乃潭庄百九十六番地

戸主鉄道工夫 陳金龍

当二十七歳

右之者昨二十六日午後五時三十分土城陸軍倉庫ニ於テ人夫等喧嘩ニ際シ本官出場制止セントスル際彰化支廳勤務巡查山下英之助ハ急ニ應シテ襯衣ノ俣窓ヨリ飛ヒ出シ人夫ノ事務所ニ押シ掛ケントスルヲ以テ青竹一本ヲ横へ前進ヲ防止セント制止中山下巡查ニ手拳ヲ以テ突キ込ミ来リ危険ナルヲ以テ本官更ニ制止スルニ更ニ本官ニ向ヒ抵抗シ手拳ヲ振フテ突キ込ミ来ルヲ以テ制止中数人ノ人夫来リテ本人ヲ擁シ去リタリ依テ人相着衣等ニ就テ捜査スルニ本人ナルコトヲ確認シタルヲ以テ捕縛シ草鞋墩支廳へ本日午後五時同行致候条
右報告ス

(一〇八) 出役人夫ノ紛争ニ関スル件 「五七四二一〇一六七」

中警保第三六八八號

大正三年四月三十日

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長代理

警視 中山佐之助殿

出役人夫ノ紛争ニ関スル件

官役人夫監督トシテ埔里社出張中ノ山口警部ノ報告ニ依レハ其ノ状況左ノ如シ

- 一 四月二十三日柑仔林保甲人夫ノ晝食ハ半ハ腐敗ニ傾キ食用ニ供スヘカラサルヨリ同日拒送先ヨリ帰來後直ニ人夫ハ炊事場ニ至リ内地人夫ニ其旨ヲ通シ今後ハ可成出發間際ニ焚出シ呉ル、様申込タルニ炊事場ニ於テハ二十三日夜九時頃ヨリ翌二十四日ノ晝食ヲ炊出スヘク着手セシヨリ保甲人夫ノ一部ハ再ヒ炊事場ニ至リ前記同様ノ注意ヲナシタルニ内地人夫等ハ言語不通ノ為其要求ヲ容レサルノミナラス乱暴ニモ保甲人夫ヲ毆打セントセシヨリ居合セタル保甲人夫等ハ内地人夫ノ措置ヲ憤リ大声ヲ発シ多數人夫ヲ呼ヒ集メ炊事場ノ内地人夫ヲ毆打セントセシヨ警察官ニテ聞付ケ直ニ之ヲ制止シタルヲ以テ事無キヲ得タリ

然ルニ炊事場使役ノ内地人夫等ハ針小棒大ニ之ヲ經理部主任ニ申告シ現今ノ状況ニテハ保甲人夫ノ取締ハ

終

警察官吏ノミニテハ難出来兵力ヲ用フルニシカスト主張セシヨリ柑仔林經理部ノ主任浦邊計手ハ事ノ真相ヲ知ラス内地人夫等ノ言ヲ信シテ革命云々ノ報告ヲナシ兵力ヲ用ヒサレハ保甲人夫使役ノ困難ヲ申出タル次第ニシテ革命惹起ノ虞等更ニナシ

二 四月二十六日午後五時頃土城經理部倉庫ニ於テ保甲人夫ト内地人夫トノ間ニ於テ紛争ヲ惹起シタル顛末ハ保甲人夫ノ一名カ自己ノ金ニテ莛一枚ヲ買求メ之ヲ敷キ居リタルヲ内地人夫ノ之ヲ認メ倉庫内ノ莛ヲ無斷ニテ取出シタルモノト誤解シ其莛ヲ無理ニ引揚ケタルニヨリ保甲人夫ハ大ニ憤リ互ニ爭論中内地人夫ハ先ツ手ヲ下シテ保甲人夫ヲ毆打シ續テ持合セノ鋸ヲ以テ負傷(輕傷)セシメタルヨリ保甲人夫ハ平素食事ノ件ヨリ快カラス思ヒ居ル折柄現場ニ居合セタル一同ノ者ハ大ニ激昂シ百余名ノ保甲人夫カ喊声ヲ揚ケ内地人夫ヲ襲撃セシヨリ居合セタル警察官吏カ漸ク之ヲ鎮静セシメタルモ独リ保甲人夫(北斗支廳下ノ者)陳龍ハ警察官吏ノ職務ノ執行ヲ妨害スルノミナラス安村警部補ニ對シ乱暴ヲ働キタルヲ以テ直ニ之ヲ取押ヘ草鞋墩支廳ニ身柄押送告発ノ手續ヲナシタリ

三 四月二十七日午後二時頃埔里社駐屯ノ保甲人夫吳奧頭ハ担送先ヨリ帰來炊事場ニ水飲ニ行タルニ炊事場ノ内地人夫森龜太郎ハ言語不通ノ為メ互ニ意思ノ疎通ヲ欠キ遂ニ喧嘩ヲ始メ森ハ先ツ手ヲ下シテ保甲人夫ヲ毆打シタル為吳ハ其不法ヲ憤リ内地人夫ニ對シ責問シタルニ森ノ外二三ノ内地人夫モ共ニ吳奧頭ニ組付キタリ吳奧頭ハ附近ニアリタル薪ヲ以テ内地人夫見掛ケテ擲ケ付ケ同時ニ大声ヲ發シテ多衆ヲ呼び集メ見ル^く内ニ百余名ノ保甲人夫同所ニ集リ炊事場ノ内地人ト争鬪ヲ始メントスル折柄同所ニ居合セタル歩哨(歩兵)ハ銃ノ臺尻ヲ以テ保甲人夫ヲ制止セントセシニ保甲人夫ノ一人ハ自己ノ目前(顔)ニ銃臺ノ突キ當ルヲ恐レ該銃器ヲ握リ自己ノ身体ニ危害ノ及ハントスルヲ防止セシ等一時混雜ヲ來シタルモ同所附近ニ居合セタル真山篠沢両巡查及陸軍主計其他二三軍人ノ制止ニ依リ大事ニ至ラスシテ解散スルコトヲ得タリ

然ルニ陸軍側ニ於テハ内地人夫タル森亀太郎ハ直ニ解雇スル筈ナリシモ格別ノ詮議ヲ以テ追分ナル經理部倉庫ニ転セシメタル結果今日ニ於テハ保甲人夫等ニ別段故障ヲ申出ルモノナク依然就業シツ、アリ

右ニ付陸軍側ノ要求スル処ニ依レハ歩哨ノ銃器ヲ握リタル人夫一名ハ陸軍ノ威厳ニ係ルヲ以テ之ヲ彼等ニ知ラシムル為メ相當處分セラレタキ旨交渉アリタルモ其何人ナルヤハ多人數ノコトナレハ不明ニ属セリ尚捜査中ナルモ只自己ノ危害ヲ免カル、為銃臺ヲ握リタリトテ之ヲ處分スル程ノコトナキヲ以テ其旨倉庫主任タル村田主計ニ申入レタルニ同人ノ希望トシテハ是非何トカ處分シ與度旨要求シ居レリ兎ニ角本人ヲ搜查取調ヲナス筈ニテ今尙捜査中ナリ

以上ノ状況ニシテ多少ノ紛争ハ免カレサルモ其ノ原因ハ必ラスヤ内地人夫カ保甲人夫ヲ蔑視シ先ニ手ヲ下シ毆打シタルニ基クモノニシテ保甲人夫モ多數ヲ特ミ反抗ノ態度ニ出ルモノ、如シ依テ内地人夫ニ対シテハ經理部ニ於テ相當取締ヲナスヘキ必要アルモノト認ム尙保甲人夫ノ取締ニ付キテハ引率巡査ニ対シ山口警部ヨリ夫々指示セシメ置キタリ

右通報ス

終

〔※欄外記入「陸軍」二五七〇三〇三七〇〕「保安課長」警察本署長「參謀長(花押)」副官部

〔經理部長〕

(二〇九) 出役人夫ノ紛争ニ関スル件 「五七四二一〇一七二」

本保第五七六號

中警保第三七二一號

大正三年五月一日

① ① ①

臺中廳長 枝徳二 ①

①

民政部警察本署長代理 ①

警視 中山佐之助殿

出役人夫ノ紛争ニ関スル件

四月三十日中警保第三六八八號ヲ以テ出役人夫ノ紛争ニ関シ不取敢及通報置候處土城人夫争闘ノ件ニ付別紙ノ
通出張先安村警部補ヨリ報告ニ接シ候条御参考迄及通報候也

終

〔欄外記入「保安課長 ① 警察本署長 不在」〕

大正三年四月二十七日

土城駐在警部補 安村仙太郎

埔里社駐在

警部 山口孫一郎殿

喧嘩ニ関スル件報告

大正三年四月二十六日午後五時三十分当倉庫附属人夫臺中廳武東堡卓乃潭庄陳疆及同堡内湾庄陳轟等ハ一組ト

ナリ陸軍經理部付屬ノ大工島根県那賀郡綿津村字塩田金川謙一^一等一組ト喧嘩ヲ生シ其爲メ相方共微傷ヲ聞キ附屬人夫約三百名計リ或ハ扁擔ヲ携ヘ棍棒ヲ携ヘ喧嘩加勢ニ出テ大事ニ至ラントセシヨ警察官ハ直ニ臨場制止ニ從事シ約五分間ニテ制止シ幸ニ大事ニ至ラスシテ解放ニ至ラシメタル狀況ハ一先ツ報告致置キ候処其原因ニ就キ取調候処左記ノ通りニ有之候条此段及報告候也

左記

一、原因 陳轟陳礪ニ就キ取調フルニ同日武東堡卓乃潭庄蕭貫世ナル者事故ノ爲出役セスシテ宿舍番ニ從事中午前十一時頃日本人大工一名來リ敷物トセルアンペラ四枚ヲ持チ去ラントスルヲ以テ自分等ハ自弁シタルモノナレハ持チ去ラレル理由ナシト云ヒタルニ晝寢ニ使用スルモノナレハ借セト云ヒタルモ全部持チ行カレルレハ甚タ迷惑ナリト云ヒタルニ二枚ヲ残シテ二枚ヲ持チ去リタリ其内一枚ハ陳轟陳礪共用ノモノナリシヲ以テ午後五時頃前記二名ハ担送ヨリ歸來シアンペラノ紛失セルヲ以テ蕭貫世ニ其所以ヲ尋ネタルニ前記ノ始末ヲ告ケタルヲ以テ其大工ノ見覺ヘアルヤ否ヤヲ問ヒ認識シアルコトヲ答ヘタルヲ以テ三人ニテ大工等就業所ナル宿舍東方約二十間位ノ警察官用所屬便所築造中ナル金川謙一ニ向ヒ其返答ヲ申込ミタルニアンペラハ炊事場ニアルヲ以テ就テ貰フヘシト言ヒタルモ我々ノミニテハ受付ケラレサルニ依リ同道セラレタシト言ヒタルニ又倉庫ニアレハ貰フヘシト言ヒタルヲ以テ同シク同道ヲ求メタルニ遂ニ知ラスト言フヲ以テ同道セラレヨト陳轟ハ引張ラントセシニ大工ハ竹切ヲ以テ打タントセシモ當ラス更ニ鋸ヲ以テ陳轟ヲ打チタリト云フ

經理部大工金川謙一ニ就キ取調ヘタルニ二十六日午前中便所建築代用ニアンペラヲ張り付ケントテ曾テ炊事ニ用ヒタル米包ノアンペラ幾何トナクアリタルモノカ今日一枚モ見當ラスナリタルヲ以テ苦力ノ所爲ナリト思料シ苦力小屋ヲ見廻リタルニ蕭貫世ノ室ニ至リ三枚ヲ発見シタルヲ以テ持チ去ラントセシニ自分ノ

モノナリト云フヲ以テ一枚ヲ返シニ枚ヲ持ち帰りタリ

然ル處午後五時過ニ至リ前記三名カ来リ請求スルヲ以テ炊事ニアレハ貰フヘシト云フニ炊事ニ同道シ貰ヒタ〇ク云フヲ以テ若シ炊事ニナケレハ倉庫ニアルヘシ就テ貰フヘシト云ヒタルニ同行セラレズハ貰フコト難シ同行セラレヨト言フヲ以テ遂ニ不知ト言ヒタルニ彼等ハ扁担ヲ以テ打チ掛リタリト云フ

右相合スルニ多少言語ノ行違ヒヨリアンペラ二枚ノコトヨリ相互ノ意思疎通ヲ欠キ遂ニ喧嘩トナリタルモノニシテ何レカ先ニ手出セシヤハ共ニ我田引水論ニテ不明ナルモノナリ然レドモ當時ノ狀況ヨリ判断スルトキハ如何ニ本島人ハ乱暴ナリト雖内地人ニ向ヒ突然扁担ヲ以テ打チ掛ルヘキモノニアラス察スルニ陳轟ナル者金川謙一ヲ引張ラントセシヲ以テ金川ハ之ヲ打チタルヲ他ノ苦力等加勢ノ為メ扁担棍棒ヲ以テ押シ寄セ金川ヲ打チタルモノト思料セラレ

一、創傷 陳轟ハ右背部肩ヨリ八寸計リノ處右横腹ヨリ脊柱ニ至ル斜下方ニ走セル直線ノ切創一ヶ所アリ長サ約七寸ニシテ深サ皮下ニ達スルモ出血甚シカラス

金川謙一ハ 一、前顔中央ヨリ右方毛生部ヨリ約五分ノ上方ニ約長七分深不明ノ縦ニ裂傷ヲ貰ヒ出血多量ナリト云フ 二、右上臍部前面外方ヨリ内下方ニ向ヒ長サ約一寸五分巾一分位ノ擦過傷アリ 三、左上臍前面中央ヨリ僅カニ上部ニ内下方ニ斜ニ約二寸位ノ腫張セル赤色ノ部アリ

終

(二一〇) 五月中徵用人夫事故一覽表 (※嘉義廳)

[五七四二一〇一八五]

支廳別	種別		五月中徵用人夫事故一覽表				
	出役	前月末	自一日	至十日	死亡	計	現在
直轄	一五〇	一四九	—	四	—	四	一四五
打猫支廳	一五〇	一五〇	—	三	—	三	一四七
斗六支廳	一五〇	一五〇	—	〇	—	〇	一四〇
西螺支廳	一五〇	一五〇	—	七	—	七	一四三
北港支廳	一五〇	一四九	三	六	—	九	一四一
朴仔腳支廳	一〇〇	一〇〇	—	七	—	七	九三
塩水港支廳	一五〇	一四五	一八	八	—	二六	一一九
店仔口支廳	一五〇	一五〇	二	三	—	五	一四五
中埔支廳	五〇	五〇	—	二	—	二	四八
竹頭崎支廳	五〇	五〇	—	二	—	二	四八
土庫支廳	五〇	四七	一	一	—	二	四五
下湖口支廳	五〇	五〇	—	四	—	四	四五
東石港支廳	五〇	四九	—	四	—	四	四五
計	一、四〇〇	一、三八九	二四	六二	—	八五	一、三〇四

(一一一) 電話 「五七四四—一〇二四五」

大正三年七月廿二日 午前十時 後
 分發信 大正 年 月 日 午前 時 分 受信

警察本署長

保安課長㊦

㊦

指定

受 信 者 名

發信地

發 信 者 名

中山警視

後藤警視

電話

紙用文譯報電號甲

花連港方面ノ人夫ハ電報ニテ申上ケタル通り日數ノ長キト労働ノ烈シキトニ依リ非常ニ衰弱シ居レハ廳長ハ之レヲ繼續使用スルハ人道問題ナリト云ヒ居ラル殊ニ宜蘭ヘ転進ノ部隊ヲ下山スルニ當リ彼等人夫ハ婦心矢ノ如ク下山シ来リ疲労ノ極ニ達セルモノハ最早帰山ヲ赦サレサルニ於テハ殺サル、ルモ致方ナシトテ涙ヲ流シテ動カス百方慰撫シ遂ニ廳長ハ交代ヲナサシムルニ付キ今暫時忍耐セヨト説諭セラレタリ故ニ本日ノ一千人ノ人夫到着ノ上ハ一部ヲ帰還セシメテ先ツ彼等ニ安心ヲ與ヘ以後當分便船毎ニ約三百人位ノ人夫交代セシムル様御取計ハル様貴官ヘ申上ケヨトノ命アリタリ御取計ヲ乞フ又交代ハ地方別ニ交代セシムル方針ナリ其他ノ疲労者ハ補充ナシニ臨時解隊セラル、筈結局其分ハ減員セラル、モノナリ

以上廳長ヨリ後藤警視ニ同警視ヨリ更ニ宜蘭廳ニ同廳ヨリ取次ギ

(宜蘭本部巡查)

(一一一) 討蕃隊通譯ニ關スル件 [五七四四—一〇二八三]

嘉義廳伺第七二七四號

大正三年七月二十五日

嘉義廳長 津田毅一印

民政部警察本署長殿

討蕃隊通譯ニ關スル件

嘉義廳斗六堡溝仔埧庄一四〇番地

高安寿

右ハ保甲人夫トシテ出役蕃地追分ニ服役中本月十六日病氣帰還ヲ命セラレタル者ニ有之候處帰來同人ノ語ル処ニ依レハ追分ニ於ケル陸軍醫務所雇通譯本島人某ハ人夫ノ取扱極メテ不親切性質不良ノ人物ニテ輕症ノ病氣ニ罹リシ各人夫ヨリ五円乃至十五、六円ノ贈賄ヲ受ケ針小棒大ノ通訳ヲ為シ軍医ノ診断ヲ受ケシメ遂ニ帰還ヲ許サレタルモノ甚タ多シト然ルニ數日前同一手段ヲ以テ輕傷患者五、六名ヲ軍医ニ紹介シタルニ診断ノ結果全部帰還ヲ許サレサリシ為メ残留贈賄人夫ハ大ニ苦情ヲ唱ヘ同シク出金シテ紹介ヲ請ヒ一ハ許サレ一ハ許サレサレハ措置甚タ不都合ナリトテ遂ニ監督警察官ニ申告シタル為メ惡事暴露シ直ニ逮捕セラル、ニ至リタリト云ヘリ右為御參考通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長(花押) 警察本署長」〕

⑩ 人夫補充

(一一三) (電報訳文) 「五七四三一一〇一八七」

着信	六月廿二日	受信人	長官
日時	午前五時五分	発信人	花蓮港廳長
蕃務本署長 課長 課長 專属			
民政長官 總督			
本島人々夫解隊者及逃走者左記人員補充方永田討伐隊長ヨリ照會アリ 至急補充方御取斗ヲ請フ			
錫口支廳	二	瑞芳支廳	一
士林支廳	一	枋橋支廳	四
		臺北廳	六
		基隆支廳	三
		水返脚支廳	二
		深坑支廳	二
		新店支廳	一
		羅東支廳	一
計	二十三		
			譯文者
			⑩

文譯報電

〔※欄外記入「非常」〕

(一一四) 譯文 [五七四四—一〇〇四九]

大正三年七月十日午前〇時四十分發信 大正 年 月 日 午前 時 分受信

警察本署長 保安課長(花押)

印

指定 受信者名

發信地

發信者名

民政長官

花蓮港廳長

譯文

討伐警察隊ハ今回ノ暴風雨被害後ノ復旧其他ノ必要上人夫一、〇〇〇〇名ノ補充ヲ要求セリ最近便船ニテ御派遣ヲ乞フ

紙用文譯報電號甲

(一一五) (電報訳文) [五七四四—一〇〇〇五二]

着信 七月十一日

受信人 本署長

譯文者

日時 午前〇時三十分

發信人 龜山指揮官

印

理蕃課長印

蕃務本署長 庶務課長印

印

專 屬

民政長官(花押)

總督

警務課長印

電譯文

警察本署長 保安課長

今回ノ暴風被害ノ為メ守備線ノ復旧橋梁ノ架設輸送其ノ他ニ差支ヲ生スルニ依リ人夫一千名急キ派遣
方花運港廳長ニ要求シ置キタリ出来得ル限り速ニ派遣アル様取計ヲ請フ

【※欄外記入「非常」】

(一一六) 官役人夫ニ關スル件 [五七四四—一〇三五〇]

大正三年七月二十六日

南澳蕃方面討伐隊輸送隊本部①

蕃務本署長事務取扱殿

官役人夫ニ關スル件

台北廳供出人夫病氣ノ為メ左記ノ通り解隊候条至急補充方御取計相成度候也

追テ台北廳ヘハ通知済ニ付申添候

左記

所屬別	保	甲	氏名	摘要
瑪陵坑派出所	第二六保	第一一甲	張南石	七月二十四日病氣解隊
成仔寮	第三二保	第四甲	陳大愈	二十一日
淡水支廳	第四三保	第二甲	汪井	二十六日

深坑支廳	第二〇保	第三甲	黃榮	二十五日
士林支廳	第七保	第八甲	謝茂土	二十五日
小基隆支廳	第一九保	第三甲	張世	二十五日
深坑支廳	第二五保	第二甲	汪凸頭	二十五日
小基隆支廳	第一六保	第三甲	郭順	二十五日
基隆支廳	第一二保	第一甲	潘同	二十五日
淡水支廳	第一四保	第六甲	陳臣	二十五日
基隆支廳	第三八保	第一甲	劉芎	二十五日
頂双濱支廳	第三六保	第六甲	張桂	二十五日
頂双濱支廳	第二九保	第五甲	吳愈仁	二十五日
頂双濱支廳	第二七保	第三甲	林萬隨	二十五日
頂双濱支廳	第四〇保	第九甲	林紅仔	二十五日
淡水支廳	第三五保	第四甲	季春臨	七月二十六日
淡水支廳	第二八保	第六甲	許水讚	七月二十六日
淡水支廳	第二〇保	第七甲	張頭	七月二十六日
淡水支廳	第一四保	第五甲	楊溪	七月二十六日
淡水支廳	第一一保	第六甲	黃登波	七月二十六日
淡水支廳	第一四保	第六甲	曾宗枝	七月二十六日
淡水支廳	第一四保	第六甲	葵足	七月二十六日

(一一七) 譯文 [五七四四—一〇〇六四]

	“	小基隆支廳	第一四保	第一甲	黃登波	“
	“	淡水支廳	第一五保	第二甲	姚秋桂	“
	“	三板橋	第二三保	第六甲	張頭	“
	“	古亭橋	第一保	第八甲	周阿海	“
	“	北門外街	第八保	第一甲	高白鷄	“
	“	小基隆支廳	第三〇保	第一〇甲	杜瑞良	“
	“		第一〇保	第三甲	孫神福	“
	“		第七保	第七甲	江阿木	“
	“		第二九保	第三甲	游水金	“
計				三十一名		

紙用文譯報電	號甲	警察本署長	保安課長(花押)	Ⓜ
大正 年 月 日 午前 後	分發信	大正 年 月 日 午前 後	時 分	受受信
指定	受信者名	發信地	發信者名	
	細井警部		神田警部	
本日埔里社倉庫ヨリ經理部長ニ対シ要求セシ人夫三千名ノ件 引渡方同倉庫長ヨリ交渉中ナリ右ハ南 投廳下ヨリ請負人夫更ニ一千名ヲ出シ不足ハ埔里社霧社倉庫不用人夫ヲ使役セントスルニアリ引渡交 渉ノ結果通知ヲ乞フ				

⑪健康診断

(一一八) 譯 「五七四三一〇二三」

三月二十五日午前八時十分着局

㊦

警察本署保安課

細井警部

早瀬川主計

譯

保甲人夫出役ノ当時ヨリ疾病ノ為メ到着後間モナク帰還セシムル者多キヲ以テ自今埔里社通過ノ際健康診断ヲ行フコト、ナレリ之カ為メ当地ヨリ直ニ帰還セシムル者ニハ往復日當及帰還ニ要スル汽車賃食費支給セザルコト、承知アリタシ ○出田警部ノ任務及解散帰還人夫給料受領委任上ノ件夫々通知アリタシ

(一一九) 電報案 「五七四三一〇三二」

第 號	大正 年 月 日	文書課
號	大正 年 月 日	受領
	大正 三年 六月 廿六日	主任受領
		立案

淨書

校正

保安課長㊦ 保安掛長

㊦

警察本署長

至急 電報案

加納警視

埔里社陸軍倉庫

早瀬川主計宛

昨日細井警部宛電報セラレタル埔里社ニテ健康診断ノ結果帰還ヲ命シタル人夫ニ対シテハ乗車券其ノ他一切支給セサル件右ハ經理部長ヨリ民政長官ヘ照会ノ上決定セラルヘキモノト思料セラル、ニ付其ノ手続セラレタシ

(二二〇)(保甲人夫健康診断の件) [五七四四一〇三二]

中警保第五四〇五號

印

大正三年六月二十七日

印

本保第九四九號

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

印

六月二十六日電話御通牒ニ基キ六月二十七日午後二時臺中駅ニ於テ討蕃徵用人夫新竹廳五百名阿緱廳五百名ニ対シ當地衛戍分院鈴木軍医立會開会健康診断ヲ施行シタルニ別紙ノ通り新竹廳二十四名阿緱廳三十名計五十四名ノ不合格者アリタルニ付即時拂飯乗車券ヲ発行シ直ニ帰還方取計致置候

右通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長 警察本署長（花押）」〕

(二二二) 電報案 「五七四三一〇二二五」

民警第一五九七號ノ一	大正三年六月二十七日	文書課 受領	淨書
第 號	大正三年六月廿七日	決 裁	校 正
第 號	大正三年六月廿七日	發 送	校 正

大正三年六月廿七日 主任受領 印

印

警察本署長印 保安課長印

民政長官印

總督不在

電報案

民政長官

臺北、桃園、新竹、臺中

廳長宛

嘉義、臺南、阿緞

人夫ノ健康診断ハ本日ヨリ臺中ニ於テ実施ス不合格ノ者ニハ臺中廳ニ於テ仮乗車券ヲ発行シ其ノ賃金ハ(半額)人夫ノ自弁ニシテ即時拂ニ決定ス

右依命通達ス

臺北、桃園廳長へハ電話通達済

㊦

〔※欄外記入〕台北廳交話者 中村警部補

桃園廳” 市来巡查」

(一一二) 保甲人夫健康診断之件 「五七四四—一〇二二四」

中警保第五四五三號

㊦

大正三年六月二十九日

本保第九五八號

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

人夫健康診断之件

六月二十八日午後一時五十五分臺中駅着臺南廳出役討蕃用保甲人夫壹千名ニ對シ當地衛戍分院鈴木軍医立会即時健康診断ヲ施行シタルニ百十三名ノ不合格者アリタルニ付即時拂假乗車券ヲ発行シ直ニ帰還方取計致置候
右通報ス

〔※欄外記入〕保安課長印 警察本署長 不在」

終

(一三三) 保甲人夫健康診断之件 [五七四四—一〇二〇六]

中警保第五一六號

大正三年六月三十日

㊦ ㊦

本保第九七四號

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

保甲人夫健康診断之件

六月三十日臺中駅ニ於テ討蕃用出役人夫臺中廳五百名臺北廳五百名ニ対シ当地陸軍衛戍分院鈴木軍医立會健康診断ヲ施行シタルニ別紙ノ通り臺中廳六十九名臺北廳二十二名ノ不合格者アリタルニ付即時拂乗車券ヲ發行シ
帰還方取斗致置候
右通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長㊦ 警察本署長不在」〕

(一二四) 保甲人夫健康診断之件 [五七四四—一〇二〇〇]

中警保第五八三號

大正三年七月二日

本保第九八二號

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

保甲人夫健康診断之件

七月一日臺中駅着阿緞廳出役保甲人夫五百名ニ対シ七月二日当地陸軍衛戍分院鈴木軍医立會健康診断施行候処別紙ノ通り八十九名ノ不合格者有之候ニ付即時拂仮乗車証ヲ發行シ帰還方取斗置候
右通報ス

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長不在」〕

終

(一二五) 人夫健康診断ノ件 [五七四四—一〇一九〇]

中警保第五六五〇號

大正三年七月三日

本保第一〇〇七號 臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

人夫健康診断ノ件

七月二日付本號ヲ以テ阿緞廳人夫五百名ニ対シ健康診断ノ結果八十九名ノ不合格者有之候旨通報致置候処該一行ノ健康者中七月三日出発ニ際シ病氣申出ノ者ニ対シ再診断ヲ施行シタルニ更ニ別紙ノ通四名不合格者ヲ出シタルニ付相当証明書ヲ與へ即時拂仮乗車券ヲ發行シ帰還方取斗致置候

右通報ス

〔※欄外記入「保安課長[㊟] 警察本署長 不在」〕

(二二六) 人夫健康診断ノ件 [五七四四―一〇一九二]

中警保第五六五二號

大正三年七月四日

本保第一〇〇六號

臺中廳長 枝徳[㊟]

警察本署長 龜山理平太殿

㊟

人夫健康診断ノ件

七月四日廳下員林駅着臺南廳保甲人夫一千名ニ対シ臺中衛戍分院鈴木軍医立會健康診断ヲ施行シタルニ不合格者別紙ノ通り百四十二名有之候ニ付相当証明書ヲ與ヘ尚即時拂返乘車券ヲ発行シ歸還方取斗致置候
右通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長[㊟] 警察本署長 不在」〕

(二二七) 人夫健康診断ノ件 [五七四四―一〇一八五]

中警保第五七三三號

終

大正三年七月五日

本保第一〇一九號

臺中廳長 枝徳二印

警察本署長 龜山理平太殿

印

人夫健康診断ノ件

七月五日當廳下出役保甲人夫一千名ニ対シ當地衛戍分院鈴木軍医立會健康診断施行候処別紙ノ通り七十三名ノ不合格者有之候ニ付相當証明書ヲ與ヘ尚汽車便乗ノ者ニ対シテハ即時拂仮乗車券ヲ発行シ帰還方取斗置候右通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長」〕

(二二八) 人夫健康診断ノ件 「五七四四一〇一八一」

中警保第五七三四號

大正三年七月六日

本保第一〇一八號

臺中廳長 枝徳二印

警察本署長 龜山理平太殿

印

人夫健康診断ノ件

七月六日廳下員林駅着臺南廳出役保甲人夫五百名ニ對シ臺中陸軍衛戍分院鈴木軍医立會健康診断施行シタルニ
不合格者五一名有之候ニ付相當證明書ヲ與ヘ尙即時拂返乘車券ヲ發行シ帰還方取斗置候
右通報ス

〔※欄外記入「是迄記入済印」〕「保安課長印」 警察本署長」

終

(二二九) 人夫健康診断ノ件 「五七四四—一〇一七八」

中警保第五七八四號

大正三年七月八日

本保第一〇二二號

臺中廳長 枝徳二印

民生部警察本署長 龜山理平太殿

人夫健康診断ノ件

七月七日新竹廳出役人夫千五百名ニ對シ當臺中驛ニ於テ鈴木軍医立會健康診断ノ結果別紙ノ通四十二名ノ不合
格者有之候
右通報ス

〔※欄外記入「保安課長印」 警察本署長印〕「記入スミ」

(一三〇) 人夫健康診断ノ件 [五七四四—一〇一七四]

中警保第五八三二號

大正三年七月九日

本保第一〇三〇號

臺中廳長 枝徳二印

警察本署長 龜山理平太殿

印

人夫健康診断ノ件

七月九日臺中馱着嘉義廳保甲出役人夫五百名ニ対シ当地陸軍衛戍分院鈴木軍医立會健康診断ヲ施行シタルニ不
合格者五十名有之候ニ付相當証明書ヲ與ヘ且ツ即時拂仮乗車券ヲ発行シ帰還方取斗置候
右通報ス

追テ不合格者氏名ハ別紙ノ通りニ有之候

〔※欄外記入「保安課長(花押) 警察本署長印」〕

(一三二) 人夫健康診断ニ関スル件 [五七四四—一〇一六八]

中警保第六三三四號

大正三年七月二十日

本保第一〇九四號

臺中廳長 枝徳二印

民政部警察本署長 龜山理平太殿

印

終

人夫健康診断ニ関スル件

七月十八日員林駅下車當廳出役人夫千七百名ニ對シ陸軍衛戍分院鈴木軍医立會健康診断ノ結果別紙ノ通六十一名ノ不合格者有之候

右通報ス

〔※欄外記入「記入スミ」「保安課長印 警察本署長不在」〕

⑫人夫患者收容施設

(一三三) (電報案) [五七四四—一〇〇二六]

本保第七九三號	大正 年 月 日	文書課 受領	淨書
號	大正 年 月 日	決裁 發送	校正
	大正 年 月 日	主任受領 立案	午後十一時五十分

大正 年 月 日 主任受領
立案

保安課長印 保安掛長

印

警察本署長不在

警務課長 印

電報案

保安課長名

花蓮港廳北埔

龜山警視総長宛

陸軍部隊使役ノ人夫ニシテ解隊後途中病氣ニ罹リ帰郷スルヲ得サル者ニ対シ埔里社ニ收容所ヲ設ケ治療セシムル必要アリルニリ然ルキ其ノ費用ヲ支出方法ナキニ依リ陸軍部ト協議シ埔里社衛戍病院ノ軍医ヲシテ治療施業セシメ收容所ハ埔里社倉庫ヲ以テ之ニ充ツルコトニ陸軍ト協定シタルモ印セシモ患者食費及看護人炊夫ノ給料其ノ他ノ雑費ノ支出方法ナキニ依リ愛国婦人會ヨリ約千五百円ノ寄付ヲ受ケ處理シタシ○收容所スベキ患者見込數ハ討伐終了迄ニテ約百名

右仰高裁

(一三三) 保甲人夫ノ患者ニ対シ救護ノ件 [五七四四—一〇〇二一]

文書課長
検印

民警第一四七一號	大正三年六月十一日	文書課 受領	浄書
第 號	大正三年六月拾貳日	決裁	校正
第 號	大正三年六月十貳日	發送	印

大正三年六月 日主任受領
十日立 案

警察本署長不在

保安課長印

印

印

警務課長印

印

民政長官（花押）

総督不在 蕃務本署長閣了

庶務課長印

印

年月日

民政長官代理

南投廳長宛

保甲人夫ノ患者ニ対シ救護ノ件

生蕃討伐陸軍部隊所要保甲人夫ニシテ疾病ニ罹リ解備又ハ疾病ニ罹リ帰還途中疾病ニ罹リ帰還スルヲ得サル者ニ対シ救護スル機関ナキヲ以テ愛国婦人会臺灣支部ニ於テ貴廳下埔里社ニ患者收容所ヲ設ケ其ノ診療ハ埔里社陸軍衛成分院長ニ囑託シ收容所ハ埔里社陸軍倉庫ノ一部ヲ以テ之ニ充ツルコトニ相成候付テハ左記各項ニ依リ患者收容所ノ事務一切埔里社支廳長ヲシテ取扱ハシメラルヘク
右依命通達ス

左記

- 一 埔里社陸軍衛成分院長ノ診療及埔里社倉庫使用ニ付テハ陸軍部ヨリ夫々通牒済ナルモ埔里社支廳長ハ分院長及倉庫長ト事務上ノ打合ヲ為スヲ要ス
- 二 患者收容所ニ充ツル倉庫ニハ蕃務本署ニ於テ五十人ヲ收容スル見積ヲ以テ床板ヲ張り呉座ヲ敷クヘシ
- 三 看護人及炊夫ハ支廳長選定備入ヲ為スヘシ
- 四 炊爨具ハ可成借入レ使用スヘシ
- 五 收容患者ノ住所、氏名、病名ハ收容ノ都度患者ノ所轄廳長及警察本署長ニ通報スヘシ患者死亡又ハ印帰郷シタルトキ亦同シ

- 六 愛国婦人会ヨリ金壹千五百円支出ノ筈ナルモ費用ノ節約ニ務ムルヲ要ス
- 七 會計事務ハ簡短ナル帳簿ヲ備ヘ其ノ収支ヲ明確ニスヘシ
- 八 収支決算ハ収容所閉鎖后三十日内ニ警察本署長ニ報告スヘシ

終リ

(一三四) 電報案 「五七四四—一〇〇一八」

午前十一時十分發

本保第八七六號	大正 年 月 日	文書領掛
號	大正 年 月 日	發送裁
	大正三年 六月十九日	主任受領案

淨書 校正 ㊟

保安課長 ㊟ 保安掛長

警察本署長不在

警察本署長

南投廳長宛

至急 電報案

埔里社へ患者収容所設置ノ件ハ之ヲ取消ス ○爾今夫人ノ患者ニシテ入院ヲ要スル者ハ全部埔里社 ㊟陸軍病院へ入院セシムルコトニ決定セシヲ以テ埔里社支廳長ハ病院長ト協議シ適當ナル本嶋人ノ看病人及炊夫ヲ備入レ

㊦病院へ交付スヘシ

給料ハ愛国婦人會ノ寄付金ヨリ支出スルニ依リ其ノ給額ヲ通報セラルヘシ

(一三五) 電報譯文 「五七四五—一〇〇七」

大正三年七月四日

㊦

出田警部

加福警視宛

電報譯文

小官ハ昨日追分ヨリ帰ル○目下入院中ノ人夫ハ七六名内戦傷四名アリ○収容者ハ小官ノ注意ニテ入院セシモノ
一他ハ全部輸送部ノ手ヲ經タルモノナリ○院長ノ意見ニ依レバ人夫ノ増加ニトモナイ二〇〇名位ニハ達スルナ
ラントノ事ナリ○当院長ノ希望ニ依レバ本島人ノ醫師ヲ派遣セラル、ヲ得バ双方好都合ナリトノ事ニ付キ御參
考込申シ上ゲ

〔※欄外記入「保安課長㊦ 警察本署長」〕

(一三六) 保甲人夫患者救護方ニ関スル件 「五七四四—一〇〇二三」

南警衛第九四六號ノ九 ㊦

大正三年七月八日

南投廳長 石橋亨

臺灣總督府民政長官 内田嘉吉殿

保甲人夫患者救護方ニ関スル件

大正三年六月十二日付民警第一四七一號ヲ以テ依命通達ニ係ル生蕃討伐陸軍部隊所屬保甲人夫患者救護ニ関シテハ埔里社支廳長ヲシテ埔里社陸軍病院長ト協議ノ上之カ同病院ニ於テ收容スルコト、ナリシヲ以テ七月四日内地人看護人一名（日給壹圓三十錢）本島人十一名（日給七十錢）及炊夫本島人六名傭入ヲ為シ同病院長ニ交付セシメ候条
右及報告候也

追テ今後患者ノ増減ニ伴フ該傭員ノ増減ノ件ハ同病院長ト埔里社支廳長協議ノ上増減セシムルコトニ致シ候条申添候也

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長印」〕

（一三七）陸軍病院閉鎖ニ関スル件 「五七四六一〇一四七」

本保第一二八八號 印

南警衛第九四六號ノ一八 印

大正三年八月二十九日 印

南投廳長 石橋亨印

民政部警察本署長殿 印

陸軍病院閉鎖ニ関スル件

埔里社陸軍病院ニ收容中ノ人夫患者引受ケ方ニ関シ本年八月二十六日付南警衛第九四六號ノ一六ヲ以テ報告致シ置候処右ハ八月二十八日ヲ以テ同病院閉鎖ニ付患者巡查一、職工一、人夫三名ヲ引受ケ直ニ埔里社衛在勤公醫瀨軍一方ニ收容引続治療セシムルコトニ手配致シ置候条
右及報告候也

追テ右病院ニ備入交付ノ医師、看病人、並ニ書記、炊夫ハ病院閉鎖ト同時ニ解備致シ候条申添候也
〔※欄外記入「保安課長 関了」 警察本署長 〇 〕

⑬死亡

(一三八)(死亡人夫人名) [五七四三一一〇二五三二]

大正三年六月八、九兩日ニ於ケル死亡人夫人名(十二日迄當部ニ報告シタル分)

死亡日	死亡場所	住	所	姓名
六月八日	合歡山	嘉義廳小北港新店庄二堡第七甲一八〇番地		江 變
同	同	嘉義廳竹仔脚庄		張 周
同	同	臺南市		林 国 林
同	同	查敏宮派出所		不 詳
同	同	炭内派出所		梁 □
同	同	新竹廳竹南一堡		蕃 阿 発
		合歡山ト畢録山トノ中間		

〃	〃	〃	〃九日	〃	〃八日		〃九日	〃	〃	同	同	同	同	同	同
同	同	同	奇來西側中繼	〃	屏風山頂	〃	屏風山	合歡山倉庫 トノ中間	合歡山倉庫 トノ中間	同	同	同	同	同	同
同	臺南市三界壇街	臺南市元分境街	臺南市竹仔街	臺南廳鹿港支廳新興第七堡	嘉義廳打貓南堡	不	不	不	不	不	不	不	不	不	不
						詳	詳	詳	詳	詳	詳	詳	詳	詳	詳
尤文漢	林清華	油海森	朱福典	張瓶	劉梗	不詳	潘文	吳嗅	江果	高却勢	林殊	不詳	陳水連	不詳	許江毛
															張金菱

〃 同

大目降支廳□杭仔庄三五三番地

陳相

備考

住所氏名等不明ノ者ハ目下調査中ニ候

病死凍死ノ別ハ死亡診斷書到着此無ニ付判明不致候

(二三九) 徵用人夫凍死ノ件 「五七四三一〇〇五一」

嘉保第五四八六號ノ一

大正三年六月十日

本保第八〇二號

嘉義廳長 津田毅一印

民政部警察本署長殿

徵用人夫凍死ノ件

嘉義廳布嶼堡同安茅原庄八〇〇番地

張 金菱

明治十八年八月生

右ハ五月二十七日當廳下七百名ト共ニ徵用保甲人夫トシテ出役中ノ處六月八日合歡山前方ニ於テ凍死致候條
右通報ス

終

(一四〇) 譯文 「五七四三一一〇二八〇」

大正三年六月十一日受電 ㊟

警察本署長 土屋經理部長 ㊟

紙用報電

譯文 (合歛山十日發)

桃園廳楊梅堪支廳管内保甲人夫(ピークイセイ)三角湧(原文モマハ誤リカ)支廳管内(姓名不明)(後ヨリ通知ス)一名(原文各ノ一字脱セルカ)昨九日蕎菜主山南峰ニテ病死ス○臺中廳(原文ナシハ誤リカ)東勢角支廳水底蔡派出所管内(ジンアレシ)病死ス

「※欄外記入「保安課長 警察本署長不在」「記入スミ㊟」」

(一四一) 保甲人夫死亡ノ件 「五七四三一一〇〇六三」

中警保第四八五五號ノ二

大正三年六月十二日

臺中廳長 枝徳二印

本保第八一六號

民政部警察本署長 龜山理平太殿

保甲人夫死亡ノ件

大正三年六月十日付中警保第四八五五號ヲ以テ病氣解備ノ新竹廳下鑑坑庄保甲人夫江阿木ハ乗車帰還不能ニテ

當地行旅病人收容所ニ收容手當中ノ旨及通報置候處右人ハ病勢革リ左日午後六時大腸加答兒病ニテ死亡セリ又當廳北斗支廳下ヨリ出役人夫頼火ナル者菴菜主山南方ニ於テ出役中ノ処六月三日病死セリ
右通報ス

終

(一四二) 徵用人夫死亡ノ件 「五七四三十一〇〇六四」

中警保第五五五六號ノ一

大正三年六月十二日

嘉義廳長 津田毅一印

本保第八二〇號

民政部警察本署長殿

徵用人夫死亡ノ件

嘉義廳龍蛟堡新店庄八百十五番地

江 變

明治十年四月三十日生

右ハ去ル五月二十七日討伐陸軍部隊所要人夫トシテ徵用派遣シタル者ニ有之候處六月八日合歡山ニ於テ死亡ノ旨同地倉庫長ヨリ電報有之候條
右通報ス

〔欄外記入〕保安課長〔印〕 警察本署長〔不在〕

(一四三) 保甲徵用人夫死亡ノ件 「五七四三一〇〇六六」

〔中警保第五七八號〕ノ一 〔印〕

大正三年六月十六日

本保第八五八號 嘉義廳長 津田毅一〔印〕

民政部警察本署長殿

保甲徵用人夫死亡ノ件

嘉義廳尖山堡三条崙庄四八五番地

吳 泰

明治四年八月一日生

同 廳同 堡□□庄四三七番地

林 乞

明治六年八月五日生

右兩名ハ討伐陸軍部隊徵用人夫トシテ南投廳下ニ出役中ノ處六月一日合歡山前方ニ於テ凍死シタル旨土屋經理部長ヨリ通牒有之候条

終

右通報ス 終

(二四四) 保甲徵用人夫死亡ノ件 「五七四三一〇〇六七」

嘉警保第五六五五號ノ一

大正三年六月十六日

本保第八六〇號 嘉義廳長 津田毅一印

民政部警察本署長殿

保甲徵用人夫死亡ノ件

嘉義廳鉄線橋堡奎頭濱庄六八八番地

張 周

三十八年

右ハ討伐陸軍部隊所要人夫トシテ南投廳下ニ出役中ノ處六月十日合歡山倉庫ニ於テ病死ノ旨同倉庫附山口警部ヨリ電報ニ接候条
右通報ス

終

(二四五) 保甲徵用人夫死亡ノ件 「五七四三一〇〇六八」

嘉警保第五六八一號ノ一

大正三年六月十六日

本保第八五九號

嘉義廳長 津田毅一印

民政部警察本署長殿

保甲徵用人夫死亡ノ件

嘉義廳龍蛟漂堡過路仔庄一九〇番地

胡 道

明治十二年二月十二日生

嘉義廳龍蛟漂堡過路仔庄四一二番地

謝 和 尚

明治十七年七月七日生

嘉義廳大垣田西堡三塊厝庄四四五番地

高 是

明治八年八月八日生

右三名ハ討伐陸軍部隊徵用人夫トシテ南投廳下ニ出役中ノ處六月八日関ヶ原附近ニ於テ死亡ノ旨基隆白砲中隊ヨリ通知有之候条

右通報ス

終

(二四六) 保甲徵用人夫死亡ノ件 [五七四四—一〇三五五]

嘉警保第五八六二號

大正三年六月二十三日

嘉義廳長 津田毅一印

本保第九一〇號

民政部警察本署長殿

保甲徵用人夫死亡ノ件

嘉義廳斗六堡林内庄一〇四三番地

張而

三十四年

右討伐陸軍部隊所要人夫トシテ南投廳下ニ出役中ノ處六月十三日死亡ノ旨討伐山砲兵第二中隊ヨリ通知有之候
条

右通報ス

追テ本人死亡ニ就テハ左記ノ通り風評有之候条御取調相成度候

記

死亡人夫張而ハ六月初旬ヨリ病氣ニ罹リ人夫小屋ニ於テ治療ヲ加ヘ来リタルニ從來ノ監督者タル当廳斗六支廳

ノ巡查カ臺中廳巡查ト交代監督スル事トナリ或日台中廳巡查ハ荷物運搬ニ際シ病床ニアル右張而ヲ偽病ナリトテ強テ之ヲ引出シ就役セシメントセルヲ以テ張而ハ之ニ對シ多少弁解シタルヲ怒リ監督巡查カ乱打シタル為メ遂ニ煩悶死亡セリト又右風説ニ就テハ當廳下地里霧庄ノ徵用人夫某カ現ニ目撃セシ云々ト同地方民一般ニ監督者ノ乱暴ヲ批難シ居レリ 終

〔※欄外記入「調査ノ事」〕

(一四七) 人夫死亡ニ付取調方ノ件 〔五七四四一〇三五三〕

本保第九一〇號	大正 年 月 日	文書課
號	大正三年 六月廿五日	日發
	大正三年 六月廿四日	主任受領
	大正三年 六月廿四日	日立案

領課 淨書 ⑩

校正

保安課長⑩ 保安掛長

警察本署長⑩

年月日 警察本署長

嘉義廳長宛

人夫死亡ニ付取調方ノ件

大正三年六月二十三日付臺警保第五八六二号ヲ以テ照会相成候保甲人夫張而ノ死亡ハ巡查ノ毆打ニ起因スル風評アルニ付ノ件右ハ現場ヲ目撃シタル人夫及風評ヲ為ス者ニ付十分御調査ノ上其ノ事情詳細通報相成度

右照会ス

(二四八) 人夫死亡ノ件通牒

〔五七四五—一〇〇二四〕

軍經第一二九號

本保第一〇八〇號

人夫死亡ノ件通牒

大正三年七月十三日

討伐軍經理部長 土屋善龜 軍印 (※討伐軍經理部長之印)

警察本署長 龜山理平太殿

保甲人夫別表ノ通り死亡候条及通牒候也

死亡月日	死亡場所	死亡ノ別	摘要	住所氏名
六、二三	無名溪東方約一里ノ地点	蕃害腹部刺創	糧食輸送途中	新竹庁三叉河支廳溪降庄張阿保
同	同	同 心臟下刺創	同	同 澎潤滿
七、七	無名溪倉庫ヲ去ル七百米突ノ地点	蕃害 馘首	同	同 三角勇支廳 林滿福
〃	〃	〃	同	〃 □ 耀
〃	〃	〃	同	〃

終リ

〔※欄外記入「保安課長印」 警察本署長印〕

六、二九	無名溪ヲ去ル東方約十丁ノ地点	蕃害 腹部銃創	糧食輸送途中	台中厅梨頭庄思保 □鳥毛
六、二八	無名溪 患者集会所	病死	支廳等不明	台南厅関帝廟支廳 蔡王
七、二	無名溪倉庫	病死		台南廳 陳烈
六、三〇	無名溪倉庫	病死		阿緞廳潮州支廳 賴天生
七、五	無名溪倉庫	病死		南投廳集々保 彭阿炎 嘉義廳打猫支厅 林水生
六月二十九日	無名溪	病死		台中厅梨頭庄思保 姚哭□
六、二八	無名溪 患者集会所	病死		員林支廳員林街 黃滿生
〃	〃	〃		彰化支廳 貢鼠
〃	ルッピセラオカフノ間	凍死	糧食担送途中 暴風雨ノ為メ	彰化支廳 許助
〃	〃	〃	同	台中廳彰化支廳 阿藤

(二四九) 保甲人夫死因ニ關スル件 [五七四四—一〇二四九・一〇三五二]

□□第五八六二號ノ二

印

大正三年七月廿九日

本保第九一〇號

嘉義廳長 津田毅一印

民政部警察本署長殿

保甲人夫死因ニ關スル件

六月二三日付本號ヲ以テ保甲人夫張而ニ關スル死因ノ件通報候處之カ再調方六月二十五日本保第九一〇号ノ一付御照會ニ依リ取調候處該風説ハ管内斗六堡林内庄一〇八三番地保正張通枝ノ弟張旺カ單ニ風説トシテ聞キ込ミ之ヲ林内派出所平野巡查ニ語リタルモノニテ他里霧庄歸還人夫ニ就キ内偵スルモ現場認シタル者ナキハ勿論斯ル風評ヲ為シタル模様無之而シテ同風説ノ出所ハ蕃界ヨリ歸還ノ人夫カ汽車中ニテ同乗者ニ物語タルヨリ漸次林内庄民ノ風説スルニ至リタルモノト思料候条
右通報ス

終

⑭逃亡

(一五〇〇) 討蕃保甲人夫ニ關スル件

[五七四二—一〇一六六]

本保第五七九號

大正三年五月二日

臺南廳長 松本茂俊印

民政部警察本署長代理 中山佐之助殿 印

印

臺南警ホ第二八六八號

討蕃保甲人夫ニ關スル件

臺南廳善化里東堡茄拔庄一〇九番地

洪文 当三十八年

右者討蕃保甲人夫ニシテ當廳下灣裡支廳ヨリ出役中ノ処此程逃走昨日歸来シタルモノナルカ本人ハ前非ヲ悔ヒ再ヒ出役スヘキ旨堅ク誓ヒタルヲ以テ本日正午直通ノ汽車ニテ出發セシメ置候条
右及通報候也

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長不在」〕「逃走者前非ヲ悔ヒ出役ス」

終

(一五二) 輸送人夫逃走ニ関スル件 「五七四二一〇三〇六」

本保第六二八號

南警保第二〇八三號

大正三年五月八日

南投廳長 石橋亨印

警察本署長代理

警視 中山佐之助殿

輸送人夫逃走ニ関スル件

廳下埔里社中繼所ニ駐屯ノ臺中廳募集ニ係ル輸送人夫五十四名ハ昨七日朝霧社支廳下眉溪方面ニ迂迴シ逃走シタルニ依リ探查スルニ本居地ヘ歸宅シタルモノ、如ク原因ハ右中繼所ノ人夫ノ一部ハ霧社ニ移轉スル事トナリシニ依リ蕃人ヲ恐怖スルノ余リ逃走ヲ企テタルモノ、如ク或ヒハ糧食ノ粗悪炊夫等冷遇ノ為メ逃走セリト云フ者アルモ口實ニ過キササルモノト思料サレ候
右及報告候也

終

(一五二) 電報訊 「五七四二一〇三〇六」

五月十九日午後六時受印

電報訊

印

嘉義廳長宛

警察本署長宛

當廳派遣人夫中本日ポアルンニ轉属ニ際シ約九十名逃走セリトノ通報ニ接ス

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長印 警務課長印」〕

(一五三) 電報訊 [五七四三一一〇三〇九]

印 印

五月廿日午後四時受印

電報訊

臺中廳長

警察本署長宛

十九日ポアルン着人夫三百九十一名ノ内六十四名逃走本日蒼萊主山へ行クニ當リ一同逃走ヲ企テ訓諭スルモ間カス兵力ヲ籍リテ喰止ム

鈴木聯隊長ハ二十四日解隊スヘシト申聞□出発セシメタル旨同地駐屯佐々木警部補ヨリ報告アリタリ

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長印 警務課長印」〕「來ル廿四日迄二千七百人ヲ解散スル予定ナルヲ以テ

聯隊長ノ申渡ハ事実□□印」

(一五四) 電報訊 [五七四三一一〇四〇八]

五月二一日午前十時五十分受印

電報訳

㊦

相澤警部

保安課長宛

當方面后方輸送人夫ノ逃走者頻々続出一昨日ノ如キハ霧社鞍部ノミニテモ二百余アリシヤニ聞ク其原因種々アルヘキモ臺南阿緞發ノ人夫ハ山路ノ經驗ナク且ツ当籤ノ本人来ラス多ク無頼漢ヲ傭ヒ来ラシメ居ルモ亦一因ナラン依テ其ノ欠ヲ補フ為經理部ニ廳長ト協議シ蕃人使役ノ計画中又病氣疲勞等ノ為休養者多ク時ニハ全員ノ三分ノ一以上ニ達スルコトアリ而シテコレ仮療養所ノ設備ヲ置クト云フ ○埔里社地方ニモ各地ヨリ無頼漢多數入込ミ煩リニ人夫ノ逃走ヲ扇動シ代人トナリ金錢ヲ貪ルコトヲ図リ居ルト云フ御參考迄

(一五五) 人夫逃走ニ関スル件 「五七四二一一〇四〇二」

中警保第四三〇八號

大正三年五月廿二日

大保第七〇六號

臺中廳長 枝徳二印

民政部

警察本署長 龜山理平太殿

人夫逃走ニ関スル件

保甲人夫逃走ニ関シ左記ノ通聞込有之候ニ付御參考迄ニ ㊦

右通報ス

左記

人夫引率監督トシテ眉溪方面へ出張帰來者ノ言ニ依レハ經理部出張所員ハ軍役人夫ニ對シ逃走シ度者ハ今夜逃走セヨト公然逃走ヲ諷示スルカ如キコトアリ為メニ警察官吏ニ於テ逃走ヲ防止セントスルモ其力及ハス多數逃走者ヲ出スノ實況ナリト

尚眉溪其他山地ニ於テ解隊セシ人夫ハ途中必ス一泊セサル可ラサルハ勿論ナルニ柑仔林其他ニ於ケル經理部出張員ハ食事等ノ相談ヲ為スモ殆ント放任顧ミサルノ風アリ為メニ解隊人夫ノ食事並ニ宿泊ニ就テハ引率者ノ苦心不尠由

以上

〔※欄外記入「經理部安藤主計正へ内談事実トスレバ匡正ノ途ヲ講スルコト」〕「保安課長 閱了」
「警察本署長 閱了」 警務課長 閱了」

(一五六) 電話通報 [五七四三十一〇〇〇四]

六月二日 臺中廳長 ㊟

警察本署長宛 ㊟

電話通報

六月一日午前八時三十分北斗支廳徵用人夫百四十九名及二林支廳徵用人夫百名ハ「ポアルン」ヨリ葦菜主山中繼所ニ向テ出発セントシタルニ北斗支廳ノ人夫全部逃走セントシタルヲ以テ直ニ引率警察官及守備隊ノ應援ヲ得テ之ヲ制止シ嚴重説諭ヲ加ヘ無事午前九時三十分出発セシメ中繼所ニ到着スルヲ得タリト原因ハ目的地ハ霧

社ナリシヲ以テ尚高地へ立入ルヲ好マサルモノ、如シ
右松井警部補ヨリ報告シ来リシヲ以テ御参考マテ通報ス

終

〔※欄外記入「保安課長印 警察本署長不在 警務課長印」〕

(一五七) 保甲人夫ニ関スル件 「五七四三一〇〇〇五」

本保第七五〇號	大正 年 月 日	受文書掛	浄書
號	大正 年 六月 三日	決裁	校正
	大正 年 三月 三日	立案	主任受領

大正 年 三月 三日 主任受領
立案

保安課長印 保安掛長 印

警察本署長不在 警務課長印

年月日

警察本署長

各廳長宛 (臺北、宜蘭、臺東、ヲ除ク)

花蓮港、澎湖廳長

保甲人夫ニ関スル件

生蕃討伐ニ付設置セラレタル陸軍經理部倉庫ハ軍隊ノ前進ニ伴ヒ漸次ニ前方ニ移轉又ハ増設セラル、モノナル

ヲ以テ保甲人夫ハ倉庫ノ移轉ニ從ヒ前進スヘキモノナルニ依リ一地ニ於テ服役スヘキモノニ無之ハ當然ノ義ニ有之候然ニ保甲人夫ヲ到着地点以外ニ前進セシムルトキハ之ヲ拒絶シ逃走ヲ企ツルモノ有之倉庫ニ於テハ物資輸送ニ差問候趣ニ付自今人夫ノ服役地及服役期間ハ一切明示セラレサル様御取斗相成度
右通牒ス

追テ将来人夫ノ到着地ハ埔里社又ハ霧社ニ指定スル筈ナルモ右ハ同地ニ於テ服役スヘキモノニ無之同地ヨリ更ニ必要ナル地点ニ配置セラル、義ニ付此段申添候

終リ

〔※欄外記入「午後一時発」「至急」〕

(一五八) 電報訊 「五七四三一一〇三二六」

㊦

電報訊 十六日午後一時十分受

臺中廳長

警察本署長宛

本日午前一時霧社、式百式拾名眉溪、百四拾七名派遣セシニ約百名逃走セリ

〔※欄外記入「保安課長(花押) 警察本署長㊦」〕「此人夫ハ後方輸送ニ從事中ノ者ヲ前進セシメタルモノナリ而シテ来ル十八日ニハ約七百名解散ノ筈ニ付百名ノ逃走ハ支障ヲ生スルコトナカラン㊦」